不要本で障がい者支援 市役所にブックポスト

ブックポスト

狛江市役所２階ロビーに不要になった本を受け入れるブックポストが設置されている。

一般社団法人陽向会（青木博行代表理事）が運営する「ワークひなた」が９月から始めた。昨年末に狛江市福祉保健部高齢障がい課から一般社団法人ワーキングバリアフリーが行っている本のリユースによって障がい者就労支援を行う「ジョブボン」プロジェクトへの参加の呼びかけがあり、ワークひなたが応募。高齢障がい課と相談、市役所に高さ約100cm、幅約37.5cm、奥行き約25cmのダンボール製のブックポストを置くことになった。

ワーキングバリアフリーによるとジョブボンは「JOB(仕事)」と「本」を組み合わせた造語で、令和４年頃から始まり、現在、企業や自治体など数十カ所で実施されている。

ポストに入れられた本はワークひなたの職員や利用者が回収して事業所で検品の上、ジョブボンのホームページに登録、アマゾンの古本ストアを通して販売する仕組みで、収益は利用者の工賃の一部になる。

青木理事は「SDGsの一環として取り組むことにしました。まだ始めたばかりなので慣れていないこともあり、じっくり焦らず取り組みたい」と話している。

問い合わせは☎5761-8408ワークひなた。

こまえくぼフェスティバル 10年記念して多彩な催し

こまえくぼフェスティバルが11月3日㊊にこまえみらいテラスと市役所市民ひろばで催された。

狛江市市民活動支援センターが「市民のチカラ×笑いのチカラ×音楽のチカラ」をテーマに設立10年を記念して開いたもので、12の団体や事業所が参加した。参加した家族連れなどは作品の展示、手話の講習や高齢者疑似体験、い草の座布団づくり、電動車いすの試乗などを楽しんでいた。ラムネギッシュ18やカルテットコパン、ミルキィ・ホイップ・マヨネーズによる笑いや演奏、ダンスなどのステージが人気を集めていた。

こまえくぼフェスティバルの展示

こまエコまつり 楽しみながらエコ学ぶ

第53回こまエコまつりが11月8日㊏に市役所市民ひろばと防災センター、こまえみらいテラスなどで開かれ、家族連れなど約1,000人が楽しみながら環境について学んだ。

市民ひろばには大学、NPO法人、自治体、電力、自動車の会社などのテントが並んだ。注目を集めたのは燃料電池自動車「MIRAI」のカットモデルで、運転席に座ったわが子をカメラに収める親も多く見られた。「持続可能な社会へ羽ばたき毛！プロジェクト」は学生団体と羽毛素材メーカーによる羽毛リサイクル促進活動で、不要な羽毛ふとんやダウンジャケットを多数回収した。

防災センターでは、描いた絵がスクリーンに投影した海中を泳ぐ「おえかきパラダイス」や間伐材を使った約１万個の積み木遊びなどが子どもの人気を集めた。

花の無料配布やスタンプラリー、市と脱炭素の連携協定を結んでいる長野県茅野市と小諸市、住民交流友好都市の山梨県小菅村の物産コーナーも好評だった。

おえかきパラダイス

東京2025デフリンピック キャラバンカーが狛江に

東京2025デフリンピックをPRするキャラバンカーが10月31日㊎に狛江市役所を訪れた。

11月15日㊏から26日㊌まで日本で初めて開催されたデフリンピックを盛り上げようと行った全国キャラバンの途中に立ち寄ったもの。聴覚障がいの当事者に加え、松原俊雄市長をはじめ多くの市民が出迎え、大会の成功と選手の健闘を祈った。

大会には狛江市から陸上の走り高跳びに井上幌太さん、髙居千紘さんの２人が出場した。

キャラバンカー

新年は籠屋の美酒でおめでとう

黒龍 純米吟醸 いっちょうらい 720mℓ 1,815円
雪中梅 特別純米 720mℓ 3,520円
無一物 原酒 42度 720mℓ 3,190円
天使の誘惑 40度 720mℓ 4,746円
嘉之助 シングルモルト 48度 700mℓ 9,900円
（価格は消費税込）

大麦麦芽乃

ストップ！20歳未満飲酒・飲酒運転。妊娠中や授乳期の飲酒はやめましょう。

日本の文化である地酒（日本酒と焼酎）専門店 https://kago-ya.net

籠屋(有)秋元商店
月曜定休・営業時間10:00～19:00
〒201-0016 狛江市駒井町3-34-3
電話：03-3480-8931 FAX：03-3489-2044

Start & Challenge

乳児親子と妊婦の交流の場

話し合う参加者

子育て世代の居場所作り活動を行っている「ハルのキに。」(川田芳昭代表)が、乳児親子を対象にしたイベント「ベビはる。」を開催している。

同会は令和6年4月に結成。孤立しがちな第一子の乳児親子と妊婦同士が交流できるアットホームな場を設けようと、市民公益活動事業補助金チャレンジ補助金を受けて今年４月から基本的に毎月1回日曜日に野川のえんがわこまちで、地域の専門家が講師を務める子育てミニ講座や、地域の調理師による手作りランチを提供している。

11月16日㊐には助産師の田中幾子さん、高橋孝予さんが「育児を楽にする方法」について話し、家族4組が参加した。

今後の講座は1月18日㊐は子どもの発達、2月22日㊐は言語、3月22日㊐はだっこひもについての予定。いずれも事前予約が必要で参加費は1家族500円、ランチが1人500円。予約はインスタグラム(二次元コード→)。

また、全年齢が対象の「いばしょ　ハルのキに。」を毎月第２木曜午前10時～午後3時30分にクオール薬局狛江店（中和泉1-1-1）で開いている。出入り自由で参加無料。

問い合わせEメールⓂharunokini@gmail.com同会。

6日にハンドベルコンサート

スポット

ハンドベルの練習

ハンドベルSweet（野呂紀子代表）が６日㊏午後２時（１時30分開場）から西河原公民館で2025定期コンサートを催す。

同会は、指揮者を務めている市内在住で音楽大学出身の長屋眞由美さんが、ハンドベルの澄んだ音色に魅了され、知人らに呼びかけて平成20年に結成された。現在は音楽好きな主婦14人が所属し、「天使のハーモニー」といわれるイングリッシュハンドベルの魅力を届けようと、日々練習に励んでいる。

今年のコンサートでは、クリスマス曲にこだわらず、様々なジャンルの曲を披露。賛助出演のきんたの会の和太鼓との異色コラボによる「八木節」や「silk road」「カノン」、懐かしい昭和歌謡や現代ポップス、昨年好評だったジブリメドレーなど、ハンドベルの音色の美しさと楽しさを感じられる内容。

長屋さんは「メンバー全員で一つの楽器を使って演奏するハンドベル。息の合った私たちの演奏を是非聴きにきてください」と話している。定員200人（先着順）で入場無料。

問い合わせ☎090-9328-8478野呂さん。

こまえくぼ1234 市民活動支援センターからのお便り

ここに掲載している情報については市民活動支援センターへお問い合わせください。

ボランティア体験イベント

ボランティア活動の入口として参加できるプログラム

■おりがみボラ

3日㊌・1月7日㊌午後２時～３時30分こまえ正吉苑二番館いちょうホール。折り紙を習ったり、教え合ったりする。習った折り紙を地域で教えるボランティア活動にも生かしている。

■切手ボラ

22日㊊午後１時～２時30分市民活動支援センター（こまえみらいテラス）※11月から場所が変わりました。集められた使用済み切手の整理を行う。ハサミを使って古切手を整えたり、仕分けをするなど簡単な作業をするボランティア活動。

おもいをカタチに

市民活動支援センターが市民、市民活動団体を対象に行う事業

■2026年の「やってみたい！」を実現しよう～私のウィッシュリストづくり～

６日㊏午後１時～２時30分市民活動支援センター（こまえみらいテラス）。やってみたいことや夢、目標を自由に書き出して、自分だけのウィッシュリストを作ってみませんか？　講師：（株）キャリアクリエイション代表取締役三輪英子さん㊍

市民先着20人、親子連れ歓迎（キッズスペースあり）

申WEBサイトから→

狛江市市民活動支援センター
〒201-8585狛江市和泉本町1-1-5こまえみらいテラス内　☎5761-5556　FAX5761-5033
Ⓜ casc@welfare.komae.org　開館時間＝午前９時～午後5時　休館日＝第１・３火曜日、年末年始
ホームページはこちら→